

学 園 便 り

日語部記事：ホール圓子 幼稚部記事：諸星よし子 英訳：ホール圓子 日訳：エイムス裕子

日英語ワープロ / 日英レイアウト：エイムス裕子 編集 / 印刷協力：佐藤明美

園長の挨拶

学園では三月二十七日に平日・土曜部合同の「お話し大会」(スピーチコンテスト)が開催されました。このお話し大会は学習発表会と共に一年おきに行なわれる学園にとって非常に重要な行事です。

大会施行の手順はキンダークラスから十二年生の各クラスより代表弁士を選びます。選ばれた生徒は作文を書き、教師の指導のもとに内容を練ってゆきます。作文の長さは四〇〇字づめの原稿用紙二、三枚程度でスピーチはだいたい三、四分の長さです。大人にとつても三、四分の原稿を暗記することは中々大変な事ですが、小さい生徒にとつては尚更です。それをしっかりと暗記をして、スラスラ間違えずに聴衆の前で上がらずに発表することは決して生易しいものではありません。生徒自身のやる気や努力の他に、保護者の方達の応援と教師の適切な指導がどうしても必要となります。

今回の大会には二十二人の生徒が出場しました。出場生それぞれが堂々と立派に発表することが出来ました事を本当に誇りに思いました。

た。生徒の発表を通じて、小さい生徒はご両親の愛情にしっかりと包まれて元気に暮らしている様子や屈託のない様が窺えました。上級生は成長過程の中で、いろいろな悩みや葛藤、自分なりに自分の事を理解し、とらえようとしている様子が繊細に表現されており、彼らの心の琴線に少しふれる事が出来る様な内容が多かったと思います。

現在、否が応でもグローバルゼーションや国際化が進んで行く中で、第二、第三言語をもつて、様々な人種、異文化を持った人達と言葉のみならず、「心」を通わせなくてはなりません。自分の言葉で自分の言いたい事をハッキリと発表しなくてはならないお話し大会への出場は、教室内での日本語の学習とは、又、違った意味で、出場生にとって良い勉強であり、素晴らしい機会であると思います。優秀賞や最優秀賞を受賞した生徒さんを初め、全出場生の皆さんの健闘を讃えます。

さて、この大会には、様々な来賓にお越し頂きましたが、大会終了後に加州日本語学園協会の理事、井川齋先生に総評をお願いしました。先生には当学園の日本語教育のレベルの高さや教師の生徒の指導面に於ける

る大きな努力について称賛を頂きました。又、今後の課題として「自分の年齢にあった言葉使いや言葉を選ぶ」、「聴衆に語りかける様にする」、「声の抑揚に気を付ける。」等を教師が生徒を指導するにあたりもう少し注意をしてはどうかというところ、そして、上級生には脚本読みを授業に取り入れる等、ご指摘、アドバイスを受けました。

今回のお話し大会の為に、左記の企業及び仏教会よりトロフィーのご寄付を頂きました事、改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

- ・カリフォルニアバンク&トラスト
- ・ユニオンバンク
- ・日系クレジットユニオン
- ・ANA
- ・ガーデナ仏教会

学園長、ホール圓子

※お話し大会の受賞作品は後日別刷りの学園便りにてご報告いたします。



PTC便り

春が訪れました！
温かいポカポカとした
春の陽気を楽しみ中、冬はまだ完
全に終わっていないんだぞとばかり
に、時折冷たい風が通り抜けます。



さて、PTCでは三月十三日に春
の照り焼きチキン、クッキーセー
ルが大成功に終わりました。
沢山のクッキーの御寄付、及びセー
ルのお手伝いに御協力を頂いた保
護者の皆様、ありがとうございます
ました。平日部なかよし幼稚園、及
び日本語学園のお母様の援助のお
かげで、今年も金曜日にもオーダー
をお渡しすることができ、より多
くのご家族の方に、おいしい照り
焼きチキンをお買い上げ頂くこと
ができました。平日部のご家族の
便宜を図り、今後も引き続き金曜
日のピックアップが可能となる様
願っております。
今回は土曜部の準備が少し人手不
足で大変でしたが、お手伝いをし
て下さった御父母の皆様、本当に
ご苦勞様でした。皆様のヘルプな
しには、とてもやり遂げることは
できませんでした。ありがとうございます
ございました。

秋と春のファンドレイザーの収益金
は、全て四月二十四日、二十五日の
卒業旅行の費用に使わせて頂きま
す。今年は上級生（八年生から十二
年生）は、デイズニールランドとカリ
フォルニアアドベンチャーに行き、
土曜日の夜にアナハイムのホテルで
一泊します。下級生（五年生から七
年生）は土曜日にデイズニールラン
ドに日帰り遠足に行きます。これら
の遠足と卒業旅行の主な費用は、PT
Cのファンドレイザーの収益金に
よって支払われます。バス代は仏教
会が払ってくださいます。今年もこ
の旅行が実現できますのは大勢の保
護者の皆様の御協力の賜物です。生
徒の皆さん全員が日本語の勉強を
ずっと続けて、そのご褒美として卒
業旅行に行けるよう頑張つてほし
いと思えます。

PTCの本年度最後のイベントとし
て、6月にピザパーティを行ないま
す。

会長 浜崎ナンシー

- (注) 次回のPTCミーティング
- 二〇一〇年五月八日(土)
 - 午前八時四十五分、本堂会議室
 - 日にちが変更されていますので
ご注意ください。(藤祭りの為)

日本語検定試験
合格おめでとう！

馬込先生のクラスのピートレエラさ
んが本年度ジャパンファウンデー
ション主催の日本語検定試験四級に
みごとに合格しました。おめでとう
ございます。本当によくがんばりま
したね。

この試験の詳細を知りたい方は、
ジャパンファウンデーションのサイ
トで、日本語検定試験の欄をクリッ
クしてください。皆さんも 挑戦さ
れては、いかがでしょうか？



藤祭り

ガーデナ仏教会では、来る五月一日
午前十一時より午後六時まで、恒例
の「藤祭りバザー」を開催致します。
野菜の花や苗、食べものブース各種
(寿司やうどん、照焼きチキン、ホッ
トドッグ、シシカバブ、沖縄だんご
等)を始め、古物市、クラフト、余
興、お子様向けゲームも用意し、大
人も子供も存分にお楽しみ頂けます
ので是非お誘い合わせの上、お出か
け下さい。
尚、カーニバル当日は、土曜クラス
の教師は、寿司作りやブースに入り
販売のお手伝いを致します。

5月・6月の予定

5月

- 1日(土) 藤まつりバザー 休園
- 5日(水) 平日幼稚園 子どもの日
- 8日(土) 土曜幼稚園 子どもの日
- 31日(月) メモリアルデー 休園

6月

- 15日(火) 平日部 ファンジャンプ(幼稚園部:午前)
- 15日(火) 平日部 ファンジャンプ(JLS:午後)

- 18日(金) 平日部 3学期終了/PTCピザパーティ
- 平日部 幼稚園部 卒園式(ソーシャルホール)
- 19日(土) 土曜部 3学期終了/PTCピザパーティ
- 土曜部 幼稚園部 卒園式(ソーシャルホール)
- 19日(土) 平日部/土曜部 JLS 合同卒業式(本堂)
- 26日(土) 土曜部 サマークラス開始
- 28日(月) 平日部 サマークラス開始



幼稚部便り 『なかよし幼稚園』

今年の運動会は市の都合で、日程が変更され、バンクーバーオリリンピックにあやかっただなかよし幼稚園のお友だちは、全員金メダルを獲得（ごほうび）いたしました。みなさん改めておめでとうございます。みんなよく頑張りました。運動会を重ねることに園児たちの成長はめざましくたのしい限りです。



今回の学園側の正副実行委員長は名雪 由香先生、五十嵐 侯子先生でした。PTCからは本間みゆき様をはじめ多くのクラスマザーの方々、そして全クラスの御父母の皆さまがそれぞれの持ち場での力強い御協力と御支援により無事に終了する事が出来ました。誠に改めて深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

お知らせ

▼すでに配布されたサマーセッションと九月の新学期に向けての再登録（進級）をお急ぎ下さい。すでに期日を過ぎておりますのでよろしくお願いいたします。



▼サマーセッションからマミー&ミークラスは火曜日も開くことになりました。ご希望の方は五月末日までに御申し込みください。

▼五月から新しく鰐淵好子先生（日米両国で長年の経験あり）が就業されます。午後のクラス及び、サマーからマミー&ミークラスを担当することになりましたので、よろしく願っています。

ディレクター 諸星よし子



ピアノクラスより

二〇一〇年に入り、ピアノクラスも行事が次々とあり、生徒も私もそしてご家族も忙しい日々が続いています。

二月六日には、毎年恒例のジュニアバッハフェスティバルがありました。参加者のうち約三十五パーセントが選ばれ五月のフェスティバルに進むことができます。私達のクラスから参加したハサウエイエリカ、土方月子、レノンエミリー、山根たけしの四名全員、五月のフェスティバルに進むことができました。

五月のフェスティバルは十六日に行われます。ここで選ばれるといよいよ十月のファイナルのフェスティバルに参加できます。そこれまでこの四人が進めますように、願っています。

- 三月十三、十四日はサティフィケイトメリットという音楽の総合テストの日でした。このテストで今年は以下の二名が参加し無事合格しました。
- ハサウエイアリス：レベル2
- レノンエミリー：レベル5

ピアノの練習は毎日の同じことの積み重ねです。本人の努力に加えて、周囲の大きな協力があつてはじめてよい実を結びます。今回のすばらしい生徒達の成果の陰にあるご家族の協力を、また背後にあつて協力してください。日本語学校、なかよし幼稚園、仏教会の方々に感謝いたします。



ピアノクラス講師
安川 和子

子供が育つ魔法の言葉

Children Learn What They Live
Parenting to Inspire Values

ドロシー・ロー・ノルト
レイチャル・ハリス
石井千春(訳)
PIHO研究所



上手な叱り方

(前回より続き)

子どものやったことに、いちいちけちを付けるのは、逆効果になるだけです。文句が言いたくなるのは、その子がどれだけできたかではなく、どれだけできなかったかを見てしまっただけです。こんな否定的な物の見方は、大人だって嫌だと思えますね。文句を言うくらいなら、どうすれば文句を言わなくてすむか、その対策を考えて行動に移すべきではないでしょうか。子どもも、そんな親の姿を見れば、手を貸したいと思うでしょう。文句ばかり言っていて何もしないような人間に、子どもを育てたくはないものです。

考えてみれば、わたしたちは、毎日ずいぶん文句を言っていて暮らしています。仕事のこと、他人のことはもちろん、天気にもでケチをつけています。もちろん、わたしたち人間というものは時には文句を言い、愚痴をこぼしたくなるものです。しかし、だからといっていつも子どもに愚痴ばかりこぼして

てもいいかといえば、決してそんなことではありません。

子どもに「配偶者の悪口を言わないでください」とか「お母さんが、いつもお父さんの悪口を言っていたらどうでしょう」とか。子どもは、お母さんの味方をしなくてはならないと思つて、いやいやお父さんを敵にまわさなくてはならなくなります。それは、子どもには辛いことです。お父さんとお母さんの間に挟まなくていいか分からなくなつてしまつてからです。

おじいちゃんやおばあちゃんのお悪口も、よくありません。子どもに「自分を可愛がってくれるおじいちゃん、おばあちゃんには特別な存在です。親族間に問題が合つても、子どもの前では、できるだけその話題は避けてほしいのです。もちろん、それは難しいことです。しかし、親族間のいざこざは、いずれ子どもにも分かることです。幼いうちからそのような重荷を背負わせるのは、子どもにとって酷なことです。

わたしたち親は、子どものために、一族が礼儀正しく節度を持つてつきあっている姿を見せる努力をしたいと思つています。子どもは、大人たちの姿から人間関係のあり方を学んでゆくのです。

子どもから学ぶ

子どもは日々親から学んでいます。それと同じように、実は、親も日々子どもから学んでいるのです。

家族で出掛けた帰りの夜のことです。七歳と八歳の男の子は、車の中でも元

気いっばいでした。お父さんとお母さんは、後で寝かしてやるのが大変だと思つていました。さて、家についてみんなは車から降りました。と、弟の方が、夜空を見上げて言いました。「ねえ、ちよつと星を見ていてもいい？」

お父さんとお母さんは、立ち止まり、どうしようかと迷いました。「なに言つてるの。もう遅いんだから。ねる時間ですよ。」そう言いたいとお母さんは、一緒に星を見ることにしました。息子たちの顔は、たのしそう

に目を輝かせて星を見上げました。子供たちは、星を見たかっただけです。「星を見る」というのは、「星を眺める」というのとは違います。大人は、見慣れた風景の一部として星を「眺める」だけです。けれども、子どもは、驚きに目を見張つて、星を「見る」のです。

子どもには、大人とはまったく違った世界がみえるのです。そんな子どもから教えられ、子どもの視線で世界を見ることができたら、私達大人も、ずいぶん素晴らしい経験をする事ができるのではないのでしょうか。

とびげとびげた家庭で育つて、子どもは乱暴になる

わたしたちは、敵意や憎しみを抱いたとしても、なかなかそれを意識できないものです。

新聞の社会面で、子どもを虐待し、殺してしまった親について書かれた記事を目にすることがあります。けれど、多くの人は、それは自分とは別世界の

出来事だと感じるはずですが。しかし、わたしたちも、家庭生活の中で、恨みや怒りの感情を鬱屈させてしまうことがあります。それが親子関係や夫婦関係に影を落としたり、大きなトラブルに発展しないともかぎらないのです。

悲しいことに、現代社会は、敵意や暴力にあふれた社会でもあります。この地球上では、常にどこかで戦争が起こっています。私たちの住む社会でも、凶悪な犯罪や、親子や夫婦間での暴力や殺人が起きています。暴力団の抗争など、恐ろしい出来事が起こることもあります。その一方で、子どもたちは、テレビや映画で、毎日のように暴力的なシーンを目にしています。実際にいやな経験をすることもいるでしょう。家で兄弟にいじめられたり、学校でいじめを受けたり、街で喧嘩を目撃したり、近所の人たちの争いを目にしたり。お父さん、お母さんが、上司、あるいは近所の人とやりあつているのを耳にしたり目にしたりすることもあつてもいいかもしれません。

〈著者紹介〉

ドロシー・ロー・ノルト
家庭教育に生涯を捧げる教育家。四十年以上にわたつて家族関係についての授業や講演を行い、家庭教育の子育てコンサルタントを務める。三人の子供の母親。二人の孫の祖母であり、ひ孫も五人いる。南カリフォルニアに暮らす。ノルトとハリスは友人として、教師として、三十年近いつきあいがある。

レイチャル・ハリス

精神科医。臨床ソーシャルワーカー。大学院で家族療法と子育て教育を学んだ。



平日部 K3

アウ みそら

わたしは、おおきくなったら
ようふくやさんになりたいです。



平日部 K3

いとつ あき

わたしは、おおきくなったら
おはなやさんになりたいです。



平日部 K3

いまい ケネス

ぼくは、おおきく
なったら おもち
ちゃやさんになり
たいです。



平日部 K3

きしもと びじゅ

わたしは、おおきくなったら
だんすがじょう
ずにおどりたい
です。



平日部 K3

きむら たいよう

ぼくは、おおきくなったら
せいになりたいです。



平日部 K3

きりやま れい

ぼくは、おおきくなつ
たら、きょうりゅうは
かせになりたいです。



平日部 K3

クリス れん

ぼくは、おおきくなつたら
げーむをつくるひ
とになりたいです。



平日部 K3

こうろぎ かい

ぼくは、おおきくなつたら
をうんでんしたいです。



平日部 K3

こにし みや

わたしは、おおきくなつたら
あさんになりたいです。



平日部 K3

しもやま りき

ぼくは、おおきくなつ
たら ごみやさんに
なりたいです。



平日部 K3

すぎもと まい

わたしは、おおきくなつたら
ぴあのをじょうず
にひけるようにな
りたいです。



平日部 K3

なみき しゅんすけ

ぼくは、おおきくなつたら
がっしょうだんには
いつてうたをうたい
たいです。



平日部 K3

のうち あいら

わたしは、おおきくなつたら
あいすくりーむやさん
になりたいです。



平日部 K3

はねだ あらた

ぼくは、おおきくなつたら
ぎんこうではたらき
たいです。



平日部 K3

マシー エンジェル

わたしは、おおきくなつた
らおはなやさんにな
りたいです。



平日部 K3

ミムズ はやと

ぼくは、おおきくなったら
のせんせいになり
たいです。



平日部 K3

みやた ひろあき

ぼくは、おおきくなっ
たら おまわりさんに
なりたいたいです。



平日部 K3

モスタカス いさみ

ぼくは、おおきくなったら
しょう
ぼうしになりた
いです。



平日部 K3

やなぎ あきよ

わたしは、おおきくなっ
たらおはなやさんにな
りたいです



平日部 K3

ワング パトリック

ぼくは、おおきくなったら
さんさんになり
たいです。



土曜部 一年生

「ぼくのパット」

おがさわら たくや

ぼくは、一ぴきのいぬをかっていま
す。なまえはアリスでメスです。しゅ
るいは、ミニチュアダックスフンド
でみんなウイニードッグかホット
ドッグかときいてきます。ぼくはア
リスがだいすきです。なぜなら、ア
リスのあるきかたがかわいいからで
す。あります、あしがみじかいので、
ちよこちよこあるきます。ときどき、
ぼくはおかあさんといっしょに、い
えのまわりでアリスとさんぼをしま
す。アリスは、なんでもたべます。
でもチョコレートとキャンディはた
べません。アリスは、よるにぼくと
いっしょのへやでねます。そして、
あさおきてさんぼにいきます。アリ
スはちいさくて、けはくろです。ア
リスはあたたかいところがすきな
で、ソファアのうえやヒーターのち

かくですわっています。アリスは、

おて、おかわりができます。ぼくは、
そんなアリスは、あたまがいいなと
おもいます。

ぼくがうまれてからいままですつ
とアリスといっしょにせいかつし
てきたので、これからもずっとア
リスとせいかつしていききたいです。
アリスは、としをとっているの
で、ぼくはやさしくしてあげようとお
もっています。これからも、アリス
といっしょにいあそびたいとおもいま
す。はれのときは、いっしょにちか
くのこうえんであそびたいとおも
います。あめのときは、いえのなか
であそびたいとおもいます。
アリスはぼくにとつて、ペットでは
なく、かぞくのひとりだとおもつて
います。ぼくは、おとうさんとおか
あさんとアリスとたのしく、みんな
けんこうですごしたいとおもつて
います。そのため、としをとつて
いるアリスは、いつでもげんきでい
てほしいとおもいます。

土曜部 一年生

「わたしかぞくとペット」

しもおか あん

わたしかぞくは、おとうさんと、

おかあさんとねえさんです。きよ

うは、じぶんでかぞくにおにぎり
をつくりました。おねえさんとお
かあさんは、おいしいねといつて
くれました。おとうさんは、しごと
で、やきドーナツをつくつて
います。いつもバナナドーナツ
をもつてきてくれます。わたしは
それがだいすきです。おかあさん
はグルーミングをしています。わ
たしは、いぬがきれいになるのを
みてるのがだいすきです。おねえ
さんは、わたしのしゆくだいをみ
てくれます。いつもおねえさんと
けんかをします。でもときどき二
人でたのしくあそびます。
いえには二ひきのいぬがいます。な
まえはさかなときんぞうです。い
つも、わたしたちがしよくじのと
きは、きんぞうはベッドでねてい
ます。とてもおりこうです。さか
なは、いつもわたしのしたで、た
べものがおちてくるのをもつてい
ます。わたしをみている目が、と
てもかわいいです。これがわたし
のかぞくとペットです。



土曜部 一年生

「わたしのベット みつ」

バスゲス きみこ



わたしは、
 どうぶつが
 すきです。
 だからわた
 しは、おおき
 くなったらどうぶつ
 のいしやになりたいです。わたしの
 いえではパグといういぬをかってい
 ます。なまえはみつといいます。み
 つは、九さいです。わたしが、うま
 れるまえからいました。パグのな
 はひくくて、とてもかわいいです。
 よるねているとき、いびきをかいて
 すぐくうるさいです。たまに、みつ
 はわたしといっしょにねます。まい
 しゅう、どうぶとか、にちようび
 におじいちゃんといっしょにみつを
 さんぽにつれていきます。そして、
 おじいさんがつだつてみつをおふ
 ろに連れてあげます。みんながでか
 けるとき、みつはいつもなきます。
 ひとりでうちでるすばんをしてさび
 しいとおもいます。いつもドアのま
 えで、まっています。
 みんながかえつてくると、すぐくよ
 るこびます。おじいちゃんは、すぐ
 みつをそとにつれていってあそびま
 す。わたしもみつといっしょにあそ

んであげます。ふゆになるとさむく
 なつて、みつはこたつをしたにねる
 のがすきです。みつはとてもかわい
 いいぬです。だからわたしは、みつ
 がすごく大好きです。

土曜部 一年生

「わたしのかぞく」

きのもと ちはる

わたしのなまえは、スカイラーち
 らです。二せん二ねん、二月二十五
 日にうまれました。カルフォルニア
 のトーランスでうまれました。
 二せん五ねんのなつ、わたしが三さい
 のとき、わたしはおねえちゃんに
 なりました。いもうとのなまえは、
 はるみです。わたしははるみちゃん
 とあそぶのが大好きです。
 わたしは、がっこうで二ねんせいで
 す。ほんをよむのが大好きです。
 ピアノをひいたりテニスもします。
 おおきくなったらわたしは、ケーキ
 やさんになりたいです。いもうとと
 いっしょに、ケーキにかわいいいかさ
 りをつけたいです。ときどき、いも
 うととクッキングクラスにいってれ
 んしゅうします。
 わたしは、二さいのとき、おとうさ
 んとおかあさんとほんにいきまし

た。ディズニーシーやピエーロラン
 ドにいきました。またにほんにいき
 たいです。こんどは、いもうととい
 くのがたのしみです。
 わたしはかぞくといっしょにいるの
 がたいせつです。

Family!



土曜部 一年

「わたしのかぞく」

ふじもと きよの

わたしのかぞくは、おとうさんとおか
 あさんとわたしの三人です。おとうさ
 んのなまえはゲリーです。おかあさ
 んのなまえはあきこです。おとうさん
 は、にほんごをはなしません。おかあ
 さんはにほんごがじょうずです。わた
 しとおかあさんは、ふたりでにほんご
 をしゃべります。わたしとおとうさん
 は、ふたりでえいごをしゃべります。
 わたしは、ふたつのことばがしゃべれ
 てうれしいです。
 おとうさんの、おとうさんとおかあ
 さんは、パサデナにすんでいます。

あそびにくと、ゲームであそんだ
 り、いっしょにさんぽにいったりし
 ます。おかあさんのおとうさんとお
 かあさんは、にほんにすんでいます。
 なつやすみににほんににいきま
 す。たくさんのかつてくれま
 す。おじさんとおばさんもいます。
 ことは、ラスベガスとハワイとプ
 エルトリコにいっしょにいきまし
 た。たくさんプールやビーチであそ
 んでくれました。とてもたのしかつ
 たです。一ばんたのしかつたのは、
 プールでおじさんをみずの中にしず
 めることです。またはやくいっしょ
 にあそびたいです。

土曜部 一年生

「すきなこと」

シアーズ まいや

わたしのすきなことは、ぬりえと本
 をよむことです。ぬりえがすきな
 はたのしいからです。よむことがす
 きなのは、あたらしいことをおぼえ
 るからです。私のお母さんがクリス
 マスにかつてくれた本はおもしろい
 です。わたしはまんがのぬりえをし
 ます。
 そしてらいねんこそはだいすきなや
 きゅうをするつもりでがんばります。